

# 相馬小学校 農業ふれあい教室



農作業体験も  
いよいよ終盤!!

相馬小学校の3年生7名は、紙漉沢地区の大場隼人さんの園地でサンふじの収穫を行いました。6月に摘果を行いました、10月に葉取り、11月の収穫を経て半年間にわたり、リンゴ作業を体験しました。

最初に佐々木善久指導員から収穫時の注意点について説明を受け、収穫が始まりました。「上手に取れた」と喜ぶ声や「つるが抜けた」と残念がる声、「真つ赤で美味しそう」といった様々な声が聞かれました。

収穫の後、女性部の方々が切り分けてくれたリンゴをみんなで食べ比べました。収穫したてのサンふじと葉とらずサンふじの試食が行われ、児童にクイズ形式で「どちらのリンゴが甘かったですか?」と尋ねてみると、「どっちも美味しいかった」という意見や「サンふじより葉とらずの方が甘いんだよ」とまるで専

門家のよつな意見が出ました。糖度計で葉取らずサンふじを測定してみると、メロンや梨に匹敵する糖度14度を示していました。児童たちは給食前にも関わらず、たくさん試食をしていました。

普段当たり前のように食べているリンゴがどのように育ち、私たちのものに届いて食べることができているのか、栽培から販売までの過程を体験することで、1人でもリンゴ作業に興味を持ってくれたら良いなと思いました。





☆ リンゴ学習 おつかれさまでした ☆